



# ヒトとつながる・マチに関わるってナニ？

～都市における「市民参画・協働」～

渡辺 直子 × 山崎 亮

問い合わせ 市民参画課 ☎38-2007

今、いろんな地域で「市民主体のまちづくり」といったことが進められています。芦屋市のような都市において、市民の皆さんが「ヒトとつながる」あるいは「まちに関わる」ことについて、現在進行中のプロジェクト「芦屋まちデザインラボ」「MIYAZUKA♡PROJECT」に携わっているお2人にお聞きします。

## 都市における「市民参画・協働」

**渡辺** 全国的には高齢化や人口減少などの問題により、地域の住民同士が協働したり行政が市民参画を考えたりしていますが、芦屋はまだ課題に直面していないので、その流れは見えていないかもしれません。

**山崎** そうですね。

例えば中山間地域は、ご近所さんは顔見知りだし、地域の行事とか消防団や雪かきなど自分たちで何とかしないといけないことがたくさんあつたりするので、地縁のような必然的な関係性があります。歩けない人がいたら「自分も通る道だから」ということで周囲の人が手伝ったり、切迫した問題に「とにかく何とかしないと！」という意識で、住民の連携によってさまざまな取り組みが生まれます。ただし都市部ではこうはいかない。ご近所さんの状況も見えにくかったり、人とつながらないで生きていこうと思えば本気でそれができたりもする。でも実は、自分が高齢になったら周りの人の助けが必要だし、介護保険料や税金なども使います。今の生活では関係ないと思っていても、納めたり使ったりする税金などを通じて、周囲の人と関係しているのに、その点が非常に見えにくいことが、相互の理解を阻んでいるという気がします。

地縁が薄い都市において「つながり」をつくるためには、「楽しい」とか「趣味が合う」などのきっかけを通じて、価値観を共有できる人と知り合えるこ



旧宮塚町住宅見学会 対談・交流会(9月8日)

とが大切だと思います。

**渡辺** 私もちよっと踏み出して動いてみたら、芦屋のまちの中がよく見えるようになって、周りの人との関係も変わっていったら面白いと感じています。私の場合、きっかけは犬を飼ったことです。些細なことですが、そこから輪が広がって、その人たちとワークショップをしたりして暮らしぶりや地域への思いが少し変わりました。

**山崎** 価値観が近い人と出会えるかどうかはとても大切ですね。

最初からいきなり社会課題を解決するという「つながり」を作ろうと思うと難しいと思うので、もっと簡単なことからつながりを作っていくといいと思います。まずは「こんな人とつながりたい」とか「こんな人と友達になりたい」くらいでいい。

**渡辺** そのためには、自ら動くことも大切ですね。自ら企画することが苦手ならば、他人がつくったフレームに参加することも一歩です。でも、お客さんとして参加するだけではなく、主体的に動くと、より興味や関心とか熱量が高くなるのは事実です。

## まちの暮らしの見える化を図る

**芦屋市** 世間では人口減少や少子高齢化の問題があるし、市民のライフスタイルが多様化しているので、社会の課題が複雑になっています。いずれは行政だけでは解決できない問題も多く出てくることも考えられます。

**山崎** そんなときに市民の関わりがとても重要です。自分たちの周りにある課題を自分たちで解決しないといけなくなったとき、先ほど言った「価値観の近い人」との「つながり」が非常に役に立ちます。そのときのために仲間をつくっておくことはとても大事ですね。

自分たちの周りには課題を自分たちで解決しないといけなくなったとき、先ほど言った「価値観の近い人」との「つながり」が非常に役に立ちます。そのときのために仲間をつくっておくことはとても大事ですね。



「芦屋まちデザインラボ」オープンゼミ(9月29日)

**渡辺** 確かに今は市民の暮らし方、楽しみ方がちょっと見えにくいのが残念です。ね。

**山崎** 芦屋にも、市民の生活を通じて見えてくる個性や多様性があるのに、「高級住宅街」のイメージが先行して他の良い部分が見えにくくなっているところがあると感じます。

例えばロンドンから20分から30分離れたまちが個性的であるように、三宮や梅田から20分くらいの距離にある芦屋も、もっと独特の個性が見えていてもおかしくないんですけどね。

芦屋の他の部分も見えたら芦屋に住む人がつながる機会が増え、地元で仲間づくりができる環境になると思います。

**渡辺** 芦屋は連休とかになるとまちに人が少なくなります。そのせいか、休日にお店が閉まっていることもあります。車でどこかへ行ったり、海外に行ったりする方が多いからですかね。

**山崎** 自分の家の近くに行きつけのお洒落なカフェがあるとか、休日に気の置けない友達と楽しく過ごすことが「かっこいいんだ」という感覚になるといいですね。市民の価値観が海外旅行や車でどこかに行くことばかりだと、経済はどんどん地域から出ていくし、まちにはいつまでたっても魅力的なお店が育たなかったりする。

## 行政の仕事は「つながり基盤」をつくること

**渡辺** 「魅力的なお店」とは「人が真ん中にあるお店」のことですかね？